

記入例

様式第3号

事業収支予算

金額はすべて 1,000 円未満
切り捨てで記入してください。

区 分		予 算 額	内 訳
収 入 の 部	協賛事業補助金	915,000 円	
	自主財源	365,000 円	
	事業収入	200,000 円	入場料●●●円×●●●人
	寄附金	500,000 円	
	収入総額	1,980,000 円	* 補助金を含む収入総額
支 出 の 部	補 助 対 象 経 費	報償費	1,000,000 円 講師謝礼(●●●●氏)
		旅費	30,000 円 講師旅費(東京～岸和田)
		消耗品費	50,000 円 PPC 用紙代●●●円、インク代●●●円、封筒代●●●円
		印刷製本費	150,000 円 チラシ 500 枚、ポスター 20 枚
		通信運搬費	50,000 円 切手代●●●円×●●●通
		保険料	300,000 円 イベント保険料●●●円×●●●人分
		広告料	円
		委託料	200,000 円
		使用料及び賃借料	50,000 円
			円
	補助対象経費計	1,830,000 円	
	補 助 対 象 外 経 費	飲食費	50,000 円 会議用のお茶、茶菓子代
		記念品費	100,000 円 記念品代●●●円×●●●人
		補助対象外経費計	150,000 円
支出総額	1,980,000 円	(補助対象経費) + (補助対象外経費)	

下記の「◆補助金額の算出方法」
を参照してください。

「収入総額」と「支出総額」
は同じ金額になります。

※ 今回企画提案する事業に関する経費のみ記入してください。

※ 適宜、行の追加や高さの変更等を行い記入して下さい。

◆補助金額の算出方法

1. 一般部門の場合：補助対象経費の2分の1以内で、100万円を上限

上記例の場合、補助対象経費の合計が「1,830,000 円」ですので、その2分の1である「915,000 円」が補助金額となります。

2. 高校生部門の場合：補助対象経費のうち、50万円を上限とし、全額補助

上記例の場合、補助対象経費の合計が「1,830,000 円」ですので、補助金額の上限である「500,000 円」が補助金額となります。